

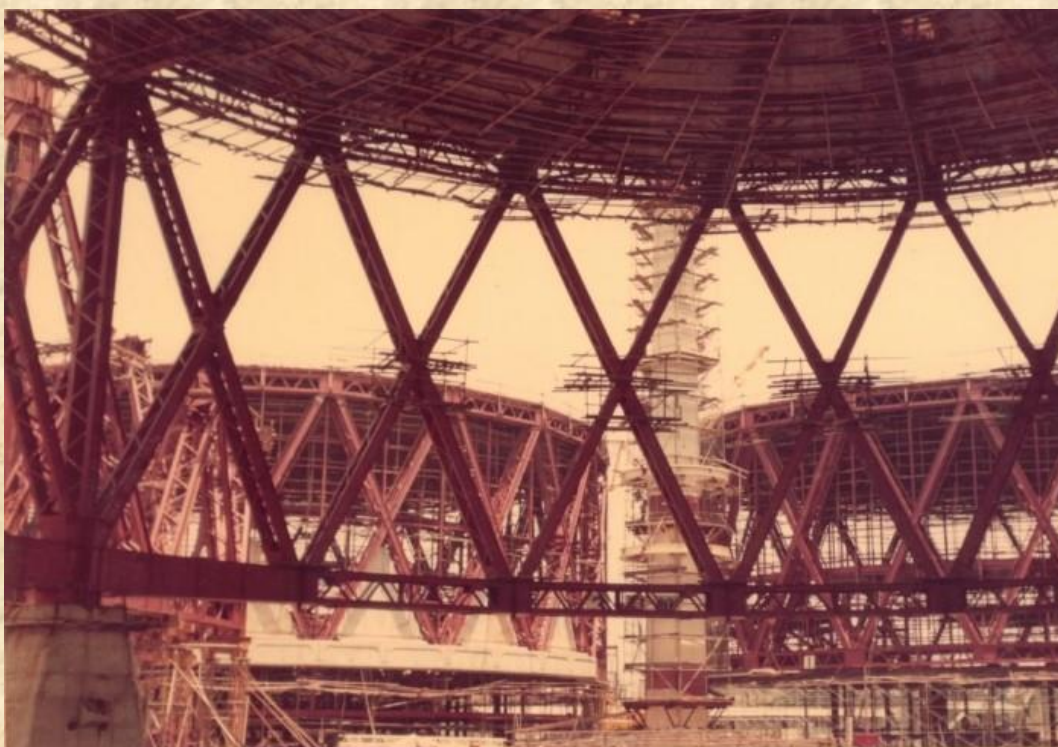
「旧いアルバム」より～

『EXPO'70 鉄骨建築記録写真集』その1

2025年に日本で3回目となる国際博覧会(万博)が大阪で開催されますが、いまから半世紀前の1970年にも大阪で万博が開催されました。日本で初めて開催された万博ですが、その折に日本ファブテック(片山鉄工所)が手がけたパビリオンの一部の画像がアルバムの形で残っていたので、ご紹介いたします。今回は、“その1”として、「日本館(日本政府館)」の画像を掲示します。







日本館は、エキスポ'70の中で最大規模の建築物で、鉄骨の全量(約6,300t)を日本ファブテック(旧片山)が手がけました。中央に高さ80メートルの塔を頂き、その周りに5つの円筒形の建物を配置した造形は、上空から見ると日本の国花である桜の花弁を模していました。これは、エキスポ'70のシンボルマークを象ったものでもありました。テーマは建物別に「昔・今・明日」の3つに分けられていて、この時代において既にリニアモーターカーの模型などが展示されていました。





